



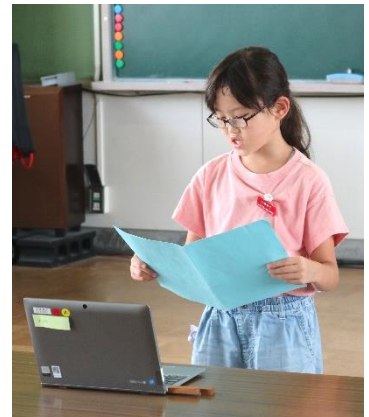
やまなみ

山形市立大曾根小学校
学校だより
令和3年9月3日
校長
No. 7 太田 千春

86日間 2学期の合言葉は「仲間」

緊急事態宣言下において東京オリンピック2020が開催された「特別な夏休み」が終わりました。連日のように過去最多を数える新規感染者が報告され、不要不急の外出を控えなければならない状況下にありましたが、それぞれに「真夏の大冒険」を経験し、有意義な夏休みを過ごされたことと思います。

2学期のスタートにあたり、始業式では今学期の合言葉を「仲間」にすることを伝えました。2学期は、運動会や学習発表会、敬老芋煮会などの学校行事が予定されています。クラスの友達と、そして、全校のみんなと共通の「目標」をもち、その達成に向けてお互いを認め合いながらいっしょの時間を過ごすことで、よき「仲間」になれるよう期待しているところです。児童代表として、2学期のめあてを発表してくれた2年生児童は、がんばりたいことのひとつに運動会をあげ、「学校だけでなく、お家でも走るれんしゅうをする」ことをめあてにしていました。また、その理由として、はやく走れるようになりたいという自分の思いを綴っていました。様々な教育活動をとおして、子供たちの仲間意識を育むとともに、一人一人が自己実現を図れるよう、教職員一丸となって指導してまいります。



感染防止対策の徹底 ～県感染防止特別集中期間～

現在、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が急増しており、県の危機対策本部が決定した「感染拡大防止特別集中期間」において、これまで以上に厳密な感染症対策をとることが求められております。具体的には、授業の実施を第一に教育活動を行うことを基本的な考え方とし、保護者等の人が集まる教育活動、また、修学旅行や社会科見学等、外部との接触を伴う活動等については、延期や中止とすることなどが示されました。本校においても、9月以降、様々な学校行事等を計画しておりましたが、現段階で右のように予定を変更することといたしました。引き続き、子供のいのちを守ることを最優先に教育活動を展開してまいります。御理解と御協力を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

主な行事予定の変更

- 8月19日(木) 2学期始業式
- 8月31日(火) 避難訓練《延期》
- 9月 2日(木)～3日(金) 修学旅行
→《11月18～19日へ延期》
- 9月 9日(木) 祖父母参観《中止》
- 9月10日(金) 自然体験学習
→《10月1日へ延期》
- 9月28日(火)～29日(水) 個人面談
※今後の感染状況により中止の場合も有り
- 10月16日(土) 運動会《実施予定》
- 10月18日(月) 振替休業日
- 10月20日(水) 創立120周年記念式
→《規模縮小にて実施》
- 10月27日(水) 敬老芋煮会
→《代替案を検討中》

子供たちの健やかな学びの保障のために・・・

～第1回校内授業研究会 第4・5学年 福田学級～

9月1日(水), 4・5年複式学級担任 福田博之 教諭による校内授業研究会を行いました。実施単元は, 第4学年算数「わり算の筆算を考えよう」, 第5学年算数「図形の角を調べよう」です。

算数科の目標の中心に「筋道を立てて考える力の育成」があります。今回, 5年生は, 三角形の三つの角の大きさの和が180度であることを基にして四角形の内角の和を演繹的に考え, 説明できるようにすることをねらいとしました。また, 4年生がねらいとした, 既習の除法の計算の仕方を活用して, 桁数の多い計算の仕方を発展的に考えることも, 筋道を立てて考える力によって可能となります。

学習を終えて, 五角形の内角の和の求め方に挑戦した5年 児童は, 五角形を3つの三角形に分けて考え, 「三角形の三つの角の和は180度なので, 180×3 で540度になります。」と解答することができました。また, 初めて商が2桁になるわり算を学習した4年 児童は, $682 \div 28$ に挑戦し, 「28を30と見立てて, 682の中に30が20こ入るから, 十の位に2を立てる。」と仮商の立て方を説明することができました。



夏休みにがんばったこと

夏休みが終わり, 今, 教室前の廊下や教室背面の棚の上には, 夏休み期間中に取り組んだ自由研究や工作等の作品が展示されています。3年生児童は, トウモロコシのヒゲと実の数が本当に同じなのか疑問をもち, 実際に検証してみたことを報告していました。妹といっしょに根気よく数えたヒゲの数は, なんと534本。実の数は360コでした。その違いが「くやしかった」そうですが, 「もっと実がふくらんでいれば同じ数になったのかもしれない」と考察していました。

身の回りには不思議なことがいっぱいあります。子供が常に知的好奇心をもって自然の事物・検証に接するようになることや, その中で得た気づきから疑問を形成し, 課題として設定することができるようになることがとても大切です。どの子も, よい学びをしていました。



3年児童の作品